|  |  |
| --- | --- |
| **10**（月） | イエスの- |
|  | **マタ28章16～20節、ピリ3章1～21節**　ですから、あなたがたはって、あらゆるのをとしなさい。、、のにおいてらにバプテスマをけ、(マタ28:19) |
|  | Remnantがしているはです。Remnantのすべてのことはとがあるのです。イエスはされるとき、どのようにされたのでしょうか。、Remnantはイエスのについてよくてみましょう。１つ、イエスはを、ねてってばれました。２つ、イエスはすることができるをとしてばれました。そのに、ってまたほかのをとしなさいとじられました。３つ、イエスはみことばをいめて、くちむをばれました。４つ、イエスはのにされました。そして、ひとり、になミッションをえてくださいました。がしなかったら、のはしてすることができないからです。５つ、イエスはにして、そのがえをけるときまでさせました。６つ、をさせたは、くのをかすためです。をかすためには、このようながずです。７つ、イエスのをするは、くいません。のきによってだけできるからです。イエスはごのをしたにのをえてくださいました。Remnantは、このをけてりましょう。 |
|  | 、イエスのをって、りでのをえるRemnantになりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.01.09.237新しい家族現場働き人訓練1講(E.B.S基礎訓練13課) |
| **11**（火） | イエスの- |
|  | **マコ3章13～15節**　さて、イエスがにり、ごがむたちをびせられると、らはみもとにた。イエスはをし、らをとばれた。それは、らをごのそばにくため、またらをわしてをさせ、らにをいすをたせるためであった。 |
|  | イエスは、たちとすべてのことをともにして、らをされました。イエスは、どんなをされたのでしょうか。１つ、イエスは「て、て、いなさい」とわれました。えることより、、て、なキリストにうことほどいはないからです。２つ、イエスがまれるをばれました。それは、ともにいて、をさせて、につをえるために、そうされたのです。のにはがもしています。３つ、イエスはがをおろすようにさせられました。それゆえ、がない、、にれてってメッセージをえられました。とされたにも、40、をされました。４つ、イエスはユダヤがっていた\*のかしらのや、あまりもしない\*スカルののをねてってメッセージをえられました。そしてマリアとマルタをして、でをするより、みことばをわかることがさらにだということをらせてくださいました。５つ、をせてくださいました。でインマヌエルをわうべきで、そのにつのがなければならないとえられました。Remnantはとともにおられるイエスをわいましょう。\*のかしら　をするののこと\*スカル　サマリアのです |
|  | 、イエスがともにおられるインマヌエルのをわいますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.01.09.237新しい家族現場働き人訓練2講(E.B.S基礎訓練14課) |

|  |  |
| --- | --- |
| **12**（水） | イエスの- |
|  | **ヨハ13章15節**　わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするようにと、あなたがたにをしたのです。 |
|  | イエスはに、をせてくださってされました。Remnantはイエスがせてくださったことをにしましょう。に、イエスがせてくださったことがあります。イエスがりにかれたとき、がねてきて、べること、、についてイエスをみました。しかし、イエスはすべてのみに、みことばでえてされました。イエスは、をにってにるをせてくださり、キリストのをわされました。に、どもたちをよりされました。それとともに、キリストがのに、のにキリストがいる、まことのいのをせてくださいました。のをって、のいにえるをされました。２つ、イエスにったがせたことがあります。は「がキリストにならうであるように、あなたがたもにならうでありなさい」といました。ほかのがをしてキリストをることができるようにしなさいというです。３つ、キリストをけてっていれば、されてがおりて、になってえがえられます。すると、になってがわります。Remnantはのをして、がキリストをることができるようにりましょう。 |
|  | 、のをしてキリストがしされますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.01.09.237新しい家族現場働き人訓練3講(E.B.S基礎訓練15課) |

|  |  |
| --- | --- |
| **13**（木） | のことの |
|  | **ロマ16章25～27節**　の、すなわち、イエス・キリストをえるによって、また、にわたってされていたのによって──(25) |
|  | は、にわたってされていたをRemnantにえるとしてくださいました。(ロマ16:25～27)サタンがってった、がえてくださったをびりすために、そのをつけましょう。１つ、にわたってされていたことをつけしましょう。このは、のにはなくて、だけがえることができます。これをれば、ののになります。のがえてくださるのやぐらをって、をえるほど、いりのにってみましょう。２つ、のことをりましょう。Remnantは、あとでなくなるものではなく、のことをりましょう。そのとき、100のえがえられ、のをします。のとともにいるをわって、をえるりをしましょう。３つ、のをえましょう。とこしえまですのは、にれないやぐらをてることです。すると、のがにかっていてくださるしるべにってくようになります。そのでする、、は、えとすること、しいをるです。Remnantは、のがのやぐらになり、のとのをいてくださるようにりましょう。 |
|  | 、ロマ1625～27のをできますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.06.02.2部 |

|  |  |
| --- | --- |
| **14**（金） | のにったレムナント |
|  | **使19章8節**　パウロはにって、かのにり、のについてじて、をしようとめた。 |
|  | Remnantは、にサミットのえを、まずにけましょう。サミットのえをけたヨセフとダビデ、エリシャは、ほかのがることができないことをました。ファラオはヨセフをて「ののっている」といました。それなら、Remnantはどんなえをけるのでしょうか。１つ、Remnantはのにてきたきなえをしましょう。カナンのにるに、がこりました。イスラエルのがにまってにをさせたのです。また、ミツパ、、ドタンの、をして、になキリストのがえられました。２つ、TCKは、、のわざわいで、のえをけます。TCKは、５のにるなです。３つ、とは、をにいてるえをけます。Remnantひとりをいてるとき、のきがこります。このをったRemnantは、にわたり、のえをけます。のにいるRemnantは、にえばのえをけ、をしてのをわいます。 |
|  | 、いたします。、たちにのをかすことができるなをえてください。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.06.08.レムナント伝道学 |

|  |  |
| --- | --- |
| **15**（土） | がると |
|  | **使1章14節、27章24節**　らはみな、たちとイエスのマリア、およびイエスのたちとともに、いつもをつにしてっていた。(1:14) |
|  | はRemnantにのになるやぐら、のになる、のになるしるべをくださいました。たちは、たちのにあるったやぐらがれさえすればいのです。そのとき、サミットのをけて、をえるえをけます。このえをけるために、たちがすることがあります。１つ、がなぜわれなければならないのか、そのをしましょう。をれて、サタンがえるできれば、、れるしかありません。ここからけすは、キリストののしかありません。２つ、どんながているのかをしましょう。はのみことばにわないで、のうとおりにきています。のできて、ほかのにえ、、になったのです。３つ、みことばをしてがくださったをつけましょう。は、Remnantをてなさいとわれました。インマヌエルのがマルコののでえられました。このをったが、ローマをかすえをけました。はRemnantをののをえるとしてばれました。いまは237か、５とのをえるをめましょう。 |
|  | 、237か、５のをえるなをめますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.06.08.核心訓練 |